



# 自治連だより

第6号



## 住民自治の組織力 向上に期待して

鳥取市自治連合会  
会長 池原 範雄

平成二十一年の新年と  
心からお祝い申し上げます

さて、最近の社会情勢は、過疎化や急速に進む少子高齢化、格差社会の増大、環境汚染問題や資源エネルギーの逼迫等、住民生活が一層厳しさを増す傾向にありますことは、誠に憂うべきことでもあります。

一方、このような流れの中にあつて、地域活性化のための取り組みや、安全・安心のまちづくり事業など、自治会や町内会等、地縁団体が果たす役割は、各方面から高く評価され、期待されていることは喜ばしいことでもあります。

鳥取市自治連合会が本年度の目標に掲げているのは、自治の精神に基づき、会員相互の連絡調整を図るとともに、住民の福利を増進し、住みよいまちを

つくることではありますが、実現するに当たっては、住民組織の主体性を尊重しつつ、組織の連携と連帯意識の高揚を図り、組織の力を高めていくことが、喫緊の課題と促えています。

今年度は、鳥取自動車道開通を記念し「全国自治会連合会鳥取大会」を、すべての閣僚を来賓に据え、開催（十一月五日予定）することになっていきます。

鳥取県自治会連合会及び鳥取市自治連合会が積み上げてきた住民自治の実績と、郷土が誇る恵まれた自然環境や、豊富な農水産資源及び観光資源など、全国に存分に情報提供すると同時に、県内外から訪れる会員と互いに学び合い睦み合つて、実り多い大会にしたいと念じています。

各位のご指導とご協力を切にお願いいたします。

### 富桑地区

交流・共感・共生の  
まちづくりを目指して

富桑地区  
会長 山田建雄

富桑地区は、富桑村として誕生し、平成元年に誕生百周年を迎えた歴史ある地区で、西は一級河川「千代川」まで、東は狐川、南は千代橋から北は八千代橋までの地域となっております。地区の中心には幅員二十二メートルの西品治田園線と十六メートルの富桑南町線が走り、今年度中には十六本松宮下線が完成予定となっております。

また、街路にはハナミズキが赤白の花を咲かせ、道行く人を楽しませてくれます。

九月七日には、第三十一回富桑地区大運動会が開催されました。運動会は、「みんなかがやけ、ベストをつくせ!」をテーマとして、子どもから大人まで地域をあげて盛大に実施しました。中でも健康づくりの「しゃんしゃん体操」は全員参加で盛り上がりました。

また、十月二十五日(土)、二十六日(日)には、「広げよう! 交流・共感・共生のまちづくり



みんなかがやけ、ベストをつくせ!

くあなたが主役の文化祭」をテーマに、竹内市長その他来賓の方々を多数迎えて、第四回富桑地区大文化祭を盛大に開催しました。鳥取西デイサービスセンターでは、公民館、隣保館を拠点とした習い事の成果や児童・生徒の作品展示、富桑地区体育館では、ステージ発表、体験発表、人権講演「お母さん笑つて」などが行われ、活気にあふれた文化祭となりました。さらに、文化祭の一大イベントとしてテント村を開設し、各方面、各種団体の皆様による出演、出品を数多くいただきました。

本年度、富桑地区では、まちづくり協議会準備会を立ち上げ、「交流・共感・共生・人権と福祉のまちづくり」を目指しています。四月二十五日の支援チームの皆さんとの打合せを経て、六月二十日に準備委員会設置に至りました。これまでに四回の準備委員会を開き、まちづく

り協議会組織図を完成させました。組織の構成は、総務企画委員会、体育健康部、文化広報部、人権地域福祉部、防災安全部と決定し、各部会の役割分担、今後のスケジュールを決定しました。十一月には総務企画委員会、



あなたが主役の文化祭

アンケートの実施と分析を行い、その後、「富桑まちづくり協議会」を設立しました。一月には各部事業計画案を協議、三月にコミュニケーション計画策定、四月から本格実施の予定となっております。

また、先の理事会において、まちづくりの一環として、現在約三百世帯ある町内会未加入者の加入促進のため、推進委員会も設置することが決定しています。

昨年からは、くる梨バスも運行するようになり、地域の皆さんから大変喜ばれています。また、富桑地区誕生百二十周年を記念して、富桑誌発刊も進めています。

このように、地域一丸となつて「交流・共感・共生・人権と福祉のまちづくり」を、活発に進めています。

## 平成二十年度 まちづくり研修会開催報告

現在、市内の各地域コミュニティにおいて、協働によるまちづくりを推進するために、「まちづくり協議会（仮称）」の設立を目指した取り組みが展開されています。

鳥取市自治連合会でも、このような各地域の取り組みを支援するための一つの施策として、「まちづくり研修会」を九月二十二日（月）、ささんか会館大会議室で開催し、鳥取市自治連合会傘下四十二地区から百六十余名の会員が参加しました。

研修会の第一部は、「まちづくりについて」と題して、NPO法人全国まちづくりサポートセンター理事長の佐藤仁威氏、及び東京都北区十条まちづくり協議会会長の栗橋弘明氏に、それぞれの体験をもとに講演していただきました。



栗橋会長からは、地域の輸送力増強のために行われた鉄道高架事業策定の影響を受けて生じた何ヶ所かの「開かずの踏み切り」の改善に向けて住民が結束し、行政や区会議員を巻き込んだ取り組みの経過が話されました。

また、佐藤理事長からも、全国各地でまちづくりのサポートをされてきた貴重な体験談を聞くことができました。

第二部では、事例発表として中ノ郷地区会長の石原明氏から、伝統芸能等を中心にした子ども達が主役となったまちづくりの取り組みについて、貴重な実践事例を紹介していただきました。

これらの研修の成果を各地区コミュニティの組織の立ち上げや、活動の推進に生かしていただきたいと思います。

鳥取市自治連合会

副会長 梶村 記

### 米里地区

#### 越路集落の伝承芸能と地区の支援

米里地区  
会長 渡辺勤治郎

鳥取市街地の南方約八キロ、風力発電が遠望できる山並みに囲まれた越路（四十七戸）には、古来より、村の南嶺の霊石山最勝寺に逃れ来た、鎌倉の源頼朝に始まると伝えられる、国・県指定の無形民族文化財「越路雨乞踊り」が伝承保存されている。越路は古くから「まとまりの良い村」と言われているが、この踊りが八百年余も伝承出来たことについて、ある識者は「主要路からはずれ、人情は厚く、古い文化を保存するには都合の良い環境」と述べている。

この踊りは、干ばつの時に氏神に降雨の願をかけ、願いが叶った時に神前に捧げる報恩感謝の行事で全国的にも珍しく、記録が残されている宝暦六年から明治四十二年までの百五十三年間に十回しか踊られていないことから、中世に始まる貴重な伝承芸能であり極めて風流化された芸能であることされ、昭和三十三年に県の指定を、四十八年には国の記録作成等を構すべき無形民族文化財に指定（県下で六選）されている。

越路では、昨年末の神社拝殿の改築を期に十五年振りの奉納再現を決めたが、近年の少子高



齢等により参加人員が減少し、開催経費に多額の財源が必要等、集落単独での実施が困難な状況に直面した。



米里地区自治会でも、一昨年の米里かるたの作成を期に、各地区に伝わる伝承芸能・史跡等の保存活動の推進を掲げていることから、今回の奉納再現を地区行事として位置付けて、三十年余も伝承活動を続けている「米里小学校伝承芸能クラブ」を始め「よねさと保育園」へも参加を呼びかけ、地域の伝承文化に対する保護者等の関心度を高める等、世代を超えた行事とし、鳥取市の「きらめくまちづくり事業」の財政支援を受けて、十五年に一度の貴重な行事を、地区の内外を問わず広く公開する方針で取り組むこととした。

開催に当たっては、カラーチラシ等を多数発行して周知を図り、各種団体等には観客の動員、野菜等バザー設置・販売、会場周辺の環境整備、駐車場案内、奉納行事写真真展等の協力支援等をお願いし、記録ビデオの収録・放送設備の設置、貸し切りバスの運行等は業者に依頼するなど、地区として盛り上げることにした。

当日は、地区の団地部を始め内外から多くの方々を訪れていただき、中には十数年振りの再会者もあるなど、交流の場ともなり、NHK、ぴよんぴよんネッ

# 住宅地好評分譲中!!

賀露西浜ニュータウン

潮風香る、リゾート感覚の分譲住宅地

かにっこ館隣接

- 平均坪単価/135,500円
- 最多販売価格帯/800万円台

上下水道の負担金不要

お問い合わせ

鳥取市賀露西浜土地区画整理組合  
理事長 小林 増夫 ☎0857-28-3596

**湖山地区**

**湖山地区における  
自治活動について**

湖山地区  
会長 村山洋一

ト等報道関係も入り交じり、普段は静かな境内や参道が笛や太鼓の響きと人垣で賑わい、中世に始まることされる優雅な舞に「こんな素晴らしい踊りが有るとは知らなかった。毎年でもやってほしい。」等の声があちこちで聞かれた。

集落の中堅層三十名余が、寸暇を当てての長期練習、小学校児童や保育園児との練習等を通じた世代交流、集落と地区が連携を密にして取り組み、諸団体の協力のもとに成功裏に終わった奉納再現行事、これら一連の活動を相互協力のもとに継続・実施して行くことが地域に活気を呼び、地域活性化への原点であると再認識した行事でもあった。



天神山城跡の集い

湖山地区は、湖山池の東岸に位置し、商業・学園・居住・工業地域が混在した市街化区域である。大型小売店(四店) 幼稚園小・中・高校(三校)、鳥取大学等が集中している。また、湖山駅周辺にJ Aいなば本支店、高層マンション(二棟)等都市化が進んでいる。当地区は、二十一年一月現在二十三町区、千



消防・防災フェア

四百三十八世帯である(マンション・学生アパート等を除く)。地区の活動は区長を構成員とした区長

会が地区の代表機関として組織活動を推進し、明るい郷土・住みやすい町を建設することとしている。

また、地区民の生活文化の向上及び親睦を図るため区長・公民館・社会福祉協議会等、十五団体が自治会を組織して地域活動を展開している。

二十年度の主要事業

(一) 湖山地区子どもの安全を守る会」を十八年から取り組む

(二) 「天神山城跡の集い」 四月(別記①)

(三) 「第七十五回湖山校区民大運動会」 五月。地区民と小学生合同で全地区参加による伝統ある重要な事業。

(四) 「敬老会」 九月。百五十八名出席(対象者四百九十名)

(五) 「公民館祭」 十月。展示コーナー・子ども広場・屋台店・健康コーナー・ミニコンサート・グラウンドゴルフ大会他

(六) 「湖山町消防・防災フェア」 十月(別記②)

二十年度新規重要事業

① 「天神山城跡の集い」 鳥取緑風高校敷地内にある天神山城跡を後世に伝承するため十四年から「天神山城跡祭」として開催していたが、今年から清掃奉仕と講話の集いに改め、平井知事、竹内市長にも出席

**美保地区**

**大規模自治会活動**

美保地区  
会長 水根富士雄

頂き開催した。

② 「消防・防災フェア」今年度から地区自主防災会連絡協議会が主催した。

③ 「まちづくり協議会」の組織化について四月から研修会を行い、十月に設立準備会を結成し、第一回準備会を準備委員十五名出席して開催。二十一年度中に協議会を設立の予定である。

美保地区は、鳥取平野の中央で鳥取駅の南に位置し、ビルや住宅が密集し、山間地の様な四季折々の風情がなく、マンション等により、主峰久松山が見え隠れする地域です。地区は二十町区、約五千世帯抱えるマンモス自治会です。

自治会には、地域住民の日常生活に必要な住みよい「まちづくり」を果たす大きな役割が求められております。町区・各種団体などの自主性を尊重しながら活性化の為に連携を密にし、安心安全のまちづくりを努めています。地区住民の健康と親睦を目的に恒例の地区大運動会を開催しています。市民体育祭では、毎年上位を占め、地区の存在感を高めるなど、大きな原動力となつ



歩け歩け運動

美保地区自治会は、公民館と連携して地区の活性化の源として欠くべからざる存在であり、地区における各種事業への全面的な参加をはじめ、独自の事業である小中学校の協力による「中秋の名月とジョイントコンサート」を始め、さまざまなサークル教室等他に類がありません。地域の人の和と交流が大きな推進力となり、町区の運営と自治会活動に多大なる貢献となり、住民活動の快適な「まちづくり協議会」の設立に向け、今後地域の発展に尽力する事が求められています。



中秋の名月とジョイントコンサート

ています。また、健康づくりや社会福祉に於ても、若男女が、一人でも多く

**「明日をひらく」**

わたしたちは創造します...

「ひと」と人の心がふれあう水と緑と食の里づくり

**JA鳥取いなば**

代表理事組合長 近藤 儀徳

鳥取いなば農業協同組合 〒680-0942 鳥取市湖山町東5丁目 261  
TEL 0857-32-1100(代) / FAX 0857-32-1130

**学校法人 鶏鳴学園**  
県知事認可予備校

大学受験科・高校受験科  
専修学校 **あすなろ** 予備校  
鳥取市永楽温泉町385  
TEL (0857)22-6896 FAX (0857)22-6899

県教委指定技能教育施設  
**クラーク記念国際高等学校**  
鳥取キャンパス  
鳥取市湖山町西2丁目228-1  
TEL (0857)32-2555 FAX (0857)32-2544

大正地区

自治会活動について

大正地区  
会長 西垣 一夫

大正地区は十一集落、十九区、約千四百世帯である。

地区をあげて取り組む事業として、五月地区運動会、八月夏まつり、十一月公民館まつりの三事業を実施している。

各区長は先頭に立って当該地区をまとめ、各事業への協力・要請など、盛会な行事となるよう努めるとともに、各種団体と連携してコーナを分担し運営・参加している。

また、敬老会は地区社会福祉協議会により実施されているが、三年に一度は各集落が独自に実施しており、それぞれ趣向を凝らした内容となっている。これにより、参加率は約五十%（全体実施の場合三十%程度）となっている。

地区同和教育推進協議会が集落に出向いて行う「小地域座談会」は、区長が参加呼びかけ、準備等の段取りから進行まで取り仕切り、活発な話し合いの場が持たれている。



We doプロジェクト

また、地域の子どもの育成活動として、地域住民による防犯パトロール・見守り隊の結成や、青少年育成協議会による小・中学生とのWe doプロジェクト（市花火大会後のゴミの持ち帰り呼びかけ及び清掃、地区幹線道路の空き缶拾い）、地区内の歴史・史跡を学習する歴史探訪などの活動を行っている。



歴史探訪

現在、まちづくり協議会の設立を検討中であるが、市街地に近く、工場団地を有するとともに近年大型店舗の進出が相次ぎ、地域環境も著しく変化する地域であること、小学校区と世紀小学校区に分かれ、また、駐在所や消防団の管轄も地区内で区分されている状況にあることから、同協議会の取組みや運営にも種々課題があり、特段の工夫が必要と考えている。

また、集落ごとに自主防災会を設置し活動しているが、地区全体の自主防災組織が未整備のため、その整備への取組みが急務となっている。

区長会は、大正地区を安全で、魅力ある地域とするため、足下にある小さな問題点にも目配りし、区長単独で対応できない問題には区長会として対処するなど、区長相互の連携も深めながら活動している。

平成二十年度 先進地研修視察報告

今回の研修先は、「協働のまちづくり」推進のための組織づくりに先進的な成果を上げている、高松市連合自治会連絡協議会を選定しました。

さる七月三〜四日の二日行程で、総勢三十三名（地区会長三十名・事務局員三名）が高松市を訪れました。

研修は、七月三日午後一時三十分から、高松市役所十三階会議室において行われ、高松市連合自治会連絡協議会から河田会長ほか七名の役員と高松市地域振興課から三名の職員が出席されました。

研修内容は、事前に調査項目を指定して事前に双方が取りまとめた、市勢の現況や組織実態等をテーマとして意見交換しました。

引き続き、高松市における地区コミュニティ協議会（鳥取市はまちづくり協議会）の設立に向けた、高松市連合自治会連絡協議会の息の長い地道な取組みや

それをしつつかりと支えてこられた高松市のサポート体制等について、活発な質疑を交わしました。

研修の席で「まちづくりの進めかたハンドブック」の地域コミュニティ組織立上げ編（地域コミュニティ推進事業の取り組み経過）など大変参考になる資料提供を受けました。これからの私たちの活動に大いに活かしたいと考えています。

鳥取市自治連合会  
副会長 大久保 記



編集後記

「自治連だより」の目指すべき編集方針は？ということになれば、自治連が住民による自主的な任意団体である、という前提にたつと、千差万別であつてもよいという考え方も成り立つものの、その

の範疇は少々広くても、より多くの会員と共有できるようにするべきであると思えます。自治連の会則でも明らかにように、住民にとってより住みよいまちづくりの推進計画やその取り組み方についての、先進的情報源の提供の場としての協力を、多くの皆様をお願いすることが大切なことだと思えます。

「自然豊かな町・伝統文化の町・鹿野町」  
温泉付分譲地  
「湯川住宅団地」好評分譲中

鳥取市土地開発公社  
電話 0857-22-4742



内科・消化器内科・小児科・アレルギー科  
石井内科クリニック



〒680-0944 鳥取市布勢332-4  
TEL 0857-31-1141  
URL http://www.ishiiclinic.net/

内科 石井 泰史  
小児科 石井 祥子